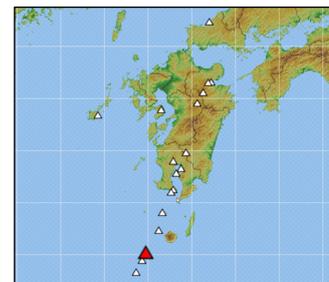


## 95. 口之島 くちのしま Kuchinoshima

北緯 29° 58′ 05″ 東経 129° 55′ 32″ 標高 628m (前岳) (三角点・口之島)  
 北緯 29° 57′ 41″ 東経 129° 55′ 59″ 標高 425m (燃岳)  
 (標高点・独自に計測)



口之島全景 南東上空から 2007年12月6日気象庁撮影

### 概要

口之島は、九州の南方に連なるトカラ列島の北端に位置しており、北北西－南南東方向に伸びた長径約 7km、短径約 3km の火山島である。北方には口永良部島や薩摩硫黄島があり、南方には中之島や諏訪之瀬島がある。トカラ列島では数少ない角閃石安山岩～デイサイトからなり、溶岩ドームの集合した火山島である。島の中央部には最高峰である前岳(628m)がそびえており、その南東斜面には急な滑落崖が発達している。前岳と南東端のタナギ山の間には、燃岳という溶岩ドームがあり、その表面は塊状の溶岩地形が鮮明である。山頂部には直径 100 m 未満の割れ目火口が存在し、かすかな噴気も認められる。しかし噴火記録は存在しない。

燃岳の周辺には、溶岩ドーム出現に先立って噴出したと思われるサージ堆積物と、ドーム出現後に噴出した火砕物が堆積している。これらが鬼界アカホヤ火山灰(約 7,300 年前)には覆われておらず、<sup>14</sup>C 年代測定の結果、歴史時代の噴火による降下火砕物と推定されている(奥野・他, 2004; 下司・中野, 2007)。安山岩～デイサイトの SiO<sub>2</sub> 量は 57.8～63.7 wt.% である。

地形図

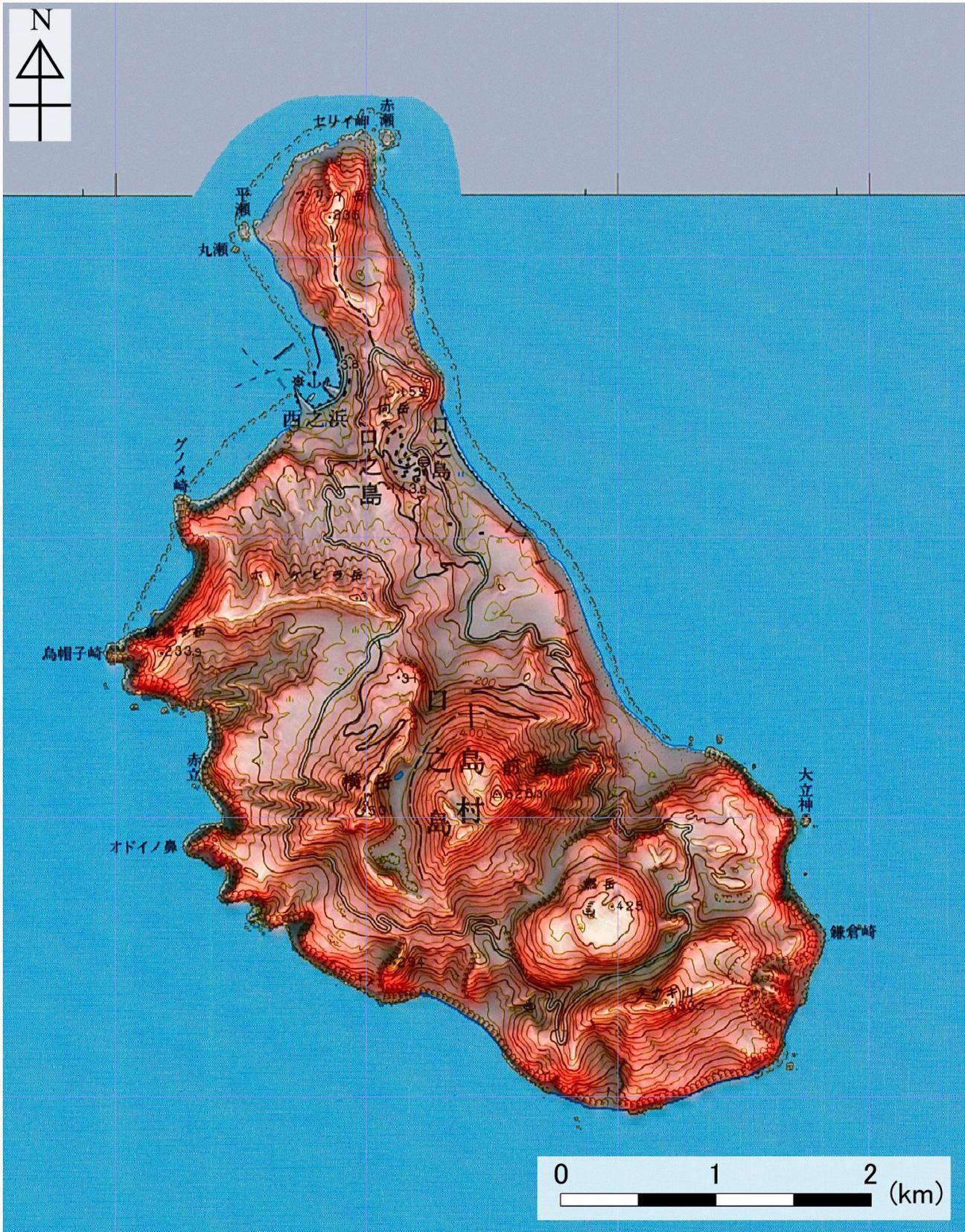


図 95-1 口之島の地形図.

国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図 (中之島) 及び数値地図 50m メッシュ (標高)

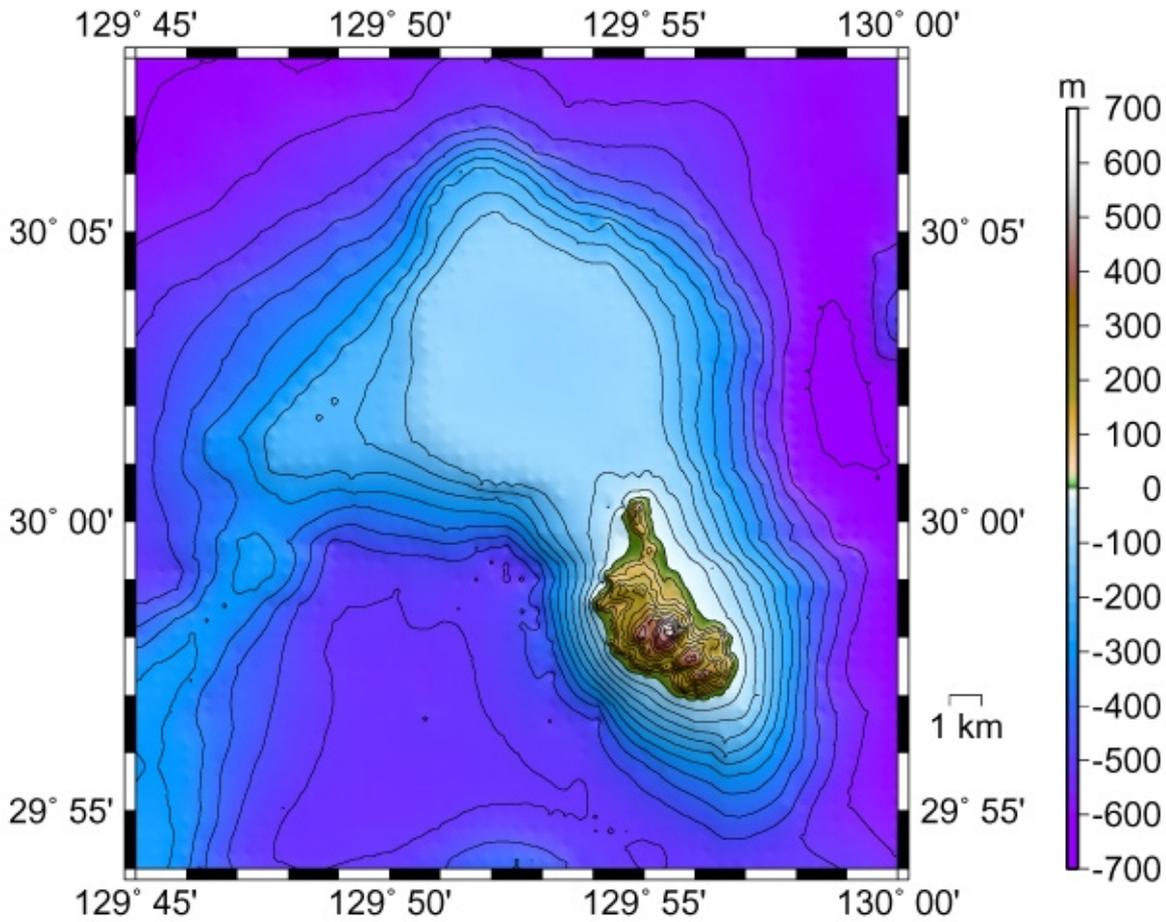


図 95-2 口之島周辺の海底地形図 (海上保安庁海洋情報部).

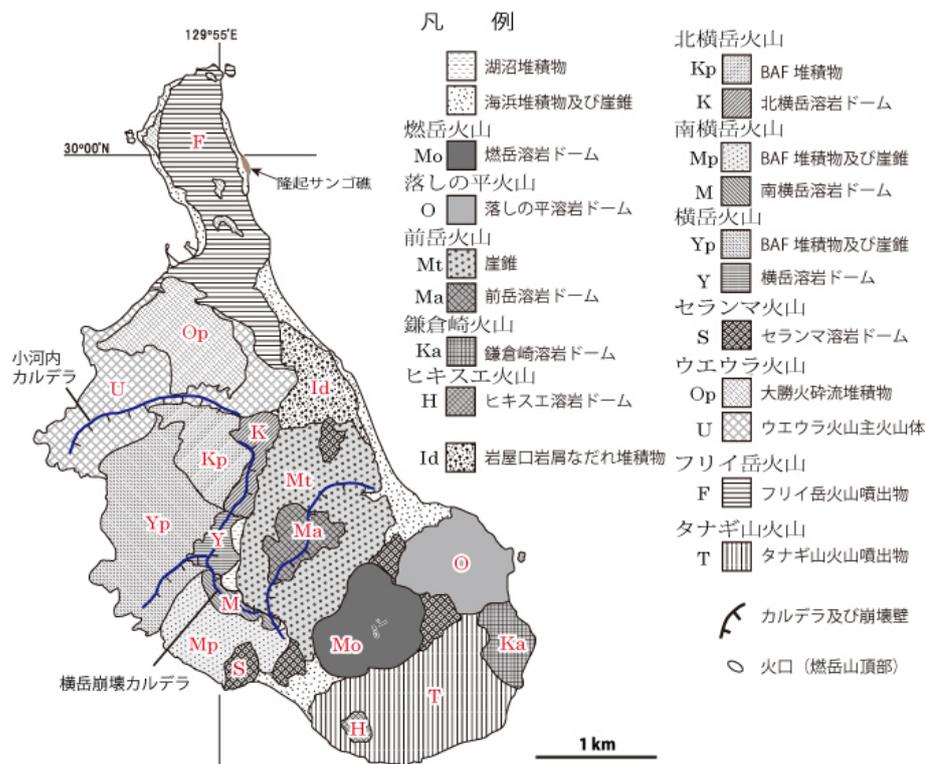


図 95-3 口之島の地質構造図 (下司・中野 (2007) を修正).

### 噴火活動史

#### ・過去1万年間の噴火活動

大部分が、アカホヤ火山灰堆積以前の噴出物である。このうち、横岳起源の降下軽石と火砕流中の炭化木からは、13000yBP と 11000yBP の年代値が得られている(森脇・他, 2002)。

また、7,900 年前ごろの横岳・南横岳・北横岳の馬蹄形崩壊によって岩屋口岩層なだれ堆積物が発生し、この崩壊地形の内部に前岳火山が成長した。アカホヤ火山灰の堆積以降では、落しの平、燃岳火山及びそのほかいくつかの小規模な溶岩ドームが成長した。なかでも、燃岳火山は最も新しい溶岩ドームである。燃岳溶岩ドームの山頂部には幾つかの爆発火口が開口しており、これらは前岳溶岩ドーム上で水蒸気爆発が繰り返し発生したことを示している。最新の水蒸気噴火は 18 世紀以降の可能性がある(下司・中野, 2007)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
8.8←→8.7ka <sup>3</sup>	横岳、前岳 <sup>1,3</sup>	マグマ噴火 <sup>1,3</sup>	火砕物降下、火砕流、溶岩ドーム。
7.3←→ 1.2ka <sup>1,2,3</sup>	落ししの平 <sup>1</sup>	マグマ噴火 <sup>1</sup>	2回の溶岩ドーム形成。
1.3←→1.2ka <sup>3</sup>	燃岳 <sup>1,3</sup>	マグマ噴火 <sup>1,3</sup>	火砕物降下、火砕サージ、溶岩ドーム。
0.84←→0.78ka <sup>3</sup>	燃岳 <sup>3</sup>		

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0kaとして示した。

A←→B: A年からB年までの間のどこかで起こった噴火イベント

#### 【引用文献】

1. 西村智博・他(1993) トカラ列島口之島火山の噴火史. 日本地理学会予稿集, **43**, 56-57.
2. 西村智博(1995) トカラ列島口之島火山の地形発達史. 金沢大学文学部地理学報告, **7**, 75.
3. 奥野 充・他(2004) トカラ列島, 口之島火山の噴火史. 日本火山学会講演予稿集 2004, 46.

#### ・有史以降の火山活動(▲は噴火年を示す)

記録に残る火山活動はない。

### 全岩化学組成

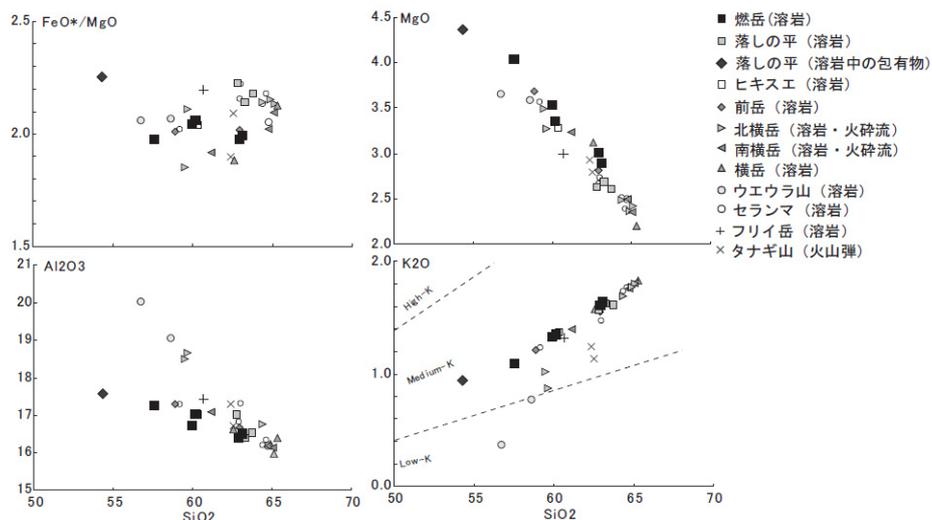


図 95-4 全岩化学組成図 (下司・中野, 2007 を和訳).

### 近年の火山活動

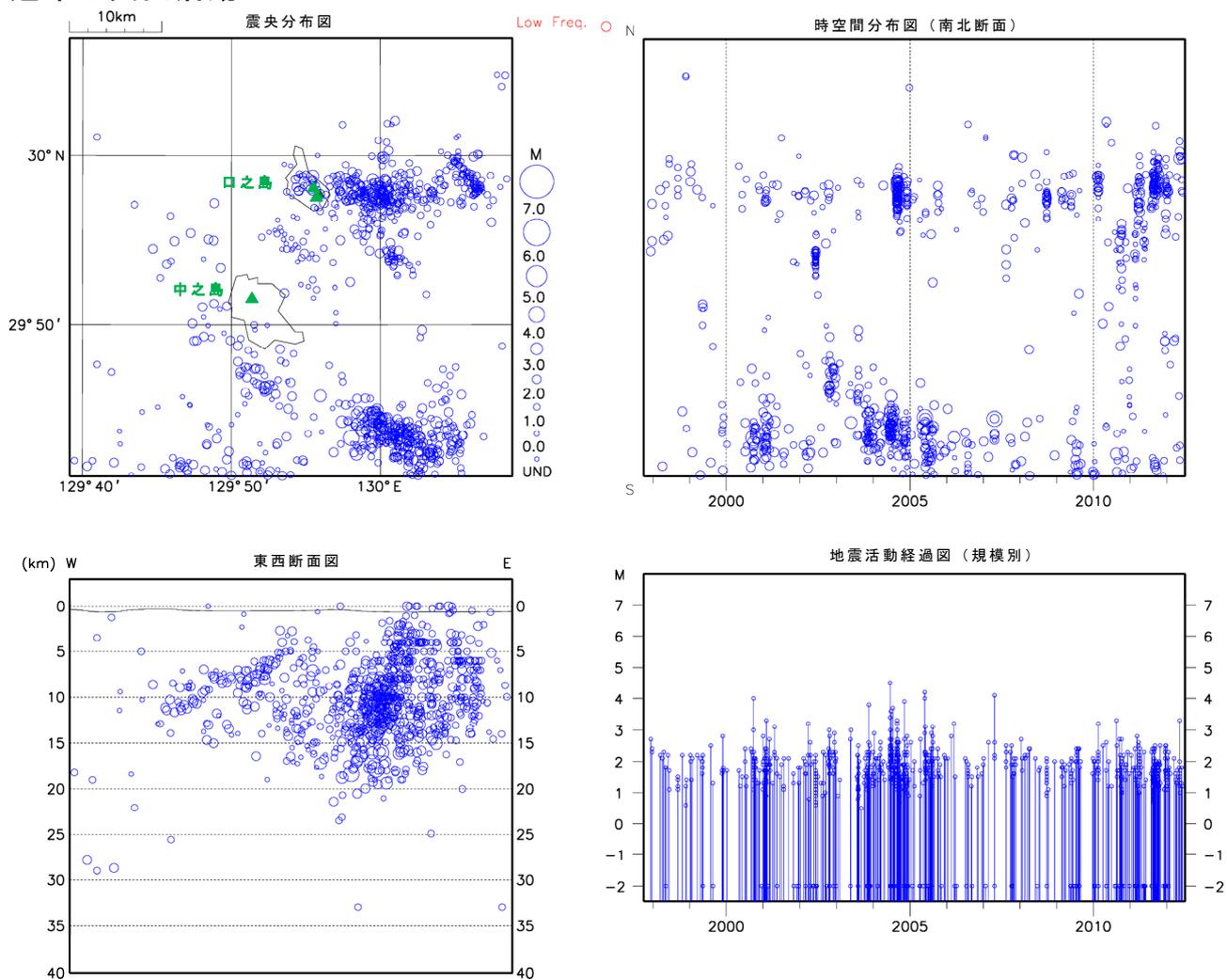


図 95-5 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤) (1997年10月1日～2012年3月30日).

## 防災に関する情報

- ①火山防災協議会  
なし
- ②避難実績及び入山規制等の実績  
いずれもなし

## 社会条件等

- ①人口  
十島村 607人（口之島：115人）（十島村：平成23年10月31日現在）
- ②国立・国定公園・登山者数等
- ・国立・国定公園：指定なし。但し、鹿児島県立自然公園
  - ・年間観光客：1,349人
  - ・年間登山者数：－
- ③付近の公共機関
- | 機関・部署名 | 所在地              | 電話番号         |
|--------|------------------|--------------|
| 十島村役場  | 鹿児島市泉町14-15      | 099-222-2101 |
| 口之島出張所 | 鹿児島県鹿児島郡十島村口之島19 | 09912-2-2229 |
- ④主要交通網
- ・船舶 村営船フェリーとしま（200名）：鹿児島－各島－宝島及び名瀬
- ⑤関連施設  
なし

## 関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
福岡火山監視・情報センター	(福岡管区気象台)福岡県福岡市中央区大濠1-2-36	092-725-3601
鹿児島地方気象台	鹿児島県鹿児島市東郡元町4-1	099-250-9911

## 気象庁および大学等関係機関の観測網

諏訪之瀬島の図を参照。

## 引用文献

- 下司信夫・中野 俊（2007）鹿児島県トカラ列島口之島火山の形成史と噴火活動履歴．地質調査研究報告，58，105-116.
- 森脇 広・他（2002）トカラ列島の第四紀テフラ．日本第四紀学会講演要旨集，32，32-33.
- 奥野 充・他（2004）トカラ列島，口之島火山の噴火史．日本火山学会講演予稿集，2004，46.